

# 2010年8月期第3四半期業績 及び業績見通し

**大西 秀亜**

---

株式会社ファーストリテイリング  
執行役員 CFO

1

2010年8月期第3四半期業績、及び  
通期の業績見通しについてご説明いたします。

I. 第3四半期決算概要	P3	～	P15
II. 2010年8月期業績予想	P16	～	P21
III. ご参考資料	P22	～	P28

**【資料文中のグループ事業の表示について】**

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：中国・香港、韓国、シンガポール、英国、米国、フランス、ロシアにおけるユニクロ事業が含まれています。  
中国は決算期変更により、2010年8月期は2009年7月～2010年8月(14ヶ月)を連結対象期間としています。

国内関連事業：国内で展開しているアパレル小売事業(ユニクロ事業除く)のことで、ジーユー事業、靴事業、キャビン事業が含まれます。

グローバルブランド事業：グローバルに展開中、もしくは展開する可能性のあるブランド事業(ユニクロ事業除く)で、セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業が含まれます。

**【将来予測に関するご注意】**

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

1Q~3Q 売上高 : 6,590億円(前年同期比 +22.7%)  
 9ヶ月累計 営業利益: 1,234億円(前年同期比 +27.1%)  
 経常利益: 1,189億円(前年同期比 +30.0%)

単位: 億円

	1Q~3Q (2009/9~2010/5)			3Q (2010/3~2010/5)		
	9ヶ月累計	前年実績	前年同期比	3ヶ月実績	前年実績	前年同期比
売上高 (売上比)	6,590 100.0%	5,370 100.0%	+22.7%	1,880 100.0%	1,796 100.0%	+4.7%
売上総利益 (売上比)	3,441 52.2%	2,695 50.2%	+27.7% (+2.0p)	978 52.0%	915 51.0%	+6.9% (+1.0p)
販管費 (売上比)	2,206 33.5%	1,723 32.1%	+28.0% (+1.4p)	742 39.5%	641 35.7%	+15.7% (+3.8p)
営業利益 (売上比)	1,234 18.7%	971 18.1%	+27.1% (+0.6p)	236 12.6%	273 15.2%	▲13.6% (▲2.6p)
経常利益 (売上比)	1,189 18.1%	915 17.0%	+30.0% (+1.1p)	224 11.9%	283 15.8%	▲20.8% (▲3.9p)
当期純利益 (売上比)	671 10.2%	496 9.3%	+35.2% (+0.9p)	118 6.3%	141 7.9%	▲16.3% (▲1.6p)

3

まず、2010年8月期 第3四半期9ヶ月累計の連結業績についてご説明いたします。

売上高は6,590億円、前年同期比22.7%増、  
 営業利益は1,234億円、同27.1%増、  
 経常利益は1,189億円、同30.0%増と、  
 増収増益を達成致しました。

## 【連結】第3四半期(累計) 増収増益の要因

**売上高 6,590億円 (前年同期比 +22.7%)**

- 国内ユニクロ事業 +648億円
- 海外ユニクロ事業 +304億円
- グローバルブランド事業 +307億円

**売上高総利益率 52.2% (前年同期比 +2.0p)**

- 国内ユニクロ事業での改善 +1.6p

**売上高販管費率 33.5% (前年同期比 +1.4p)**

- 販管費比率の高い海外ユニクロ事業、グローバルブランド事業の拡大

**営業利益率 18.7% (前年同期比 +0.6p)**

**経常利益率 18.1% (前年同期比 +1.1p)**

- 円高による為替差損の発生 ▲39億円

4

まず売上高ですが、6,590億円、前年同期比1,220億円増、22.7%の増収でした。

増収の要因は、好調な国内ユニクロ事業が648億円の増収、海外ユニクロ事業が304億円の増収、2009年8月期の第3四半期から連結を開始したセオリー事業によりグローバルブランド事業が307億円の増収となったことによります。

売上高総利益率は52.2%と、前年同期比2.0ポイント改善いたしました。これは、国内ユニクロ事業において、粗利益率が1.6ポイント上昇したことが要因です。

販売管理費は前年同期比で482億円増えており、販管費率は1.4ポイント上昇いたしました。これは、比較的販管費率が高い海外ユニクロ事業、グローバルブランド事業の構成比が高まったことが主な要因です。

これらの結果、営業利益は1,234億円、前年同期比27.1%の増益となり、営業利益率は18.7%と前年同期比で0.6ポイント改善いたしました。

また、経常利益につきましては1,189億円、前年同期比30.0%増、経常利益率は18.1%と、前年に比べて1.1ポイント改善いたしました。

営業外損益の内訳としましては、主に海外子会社向け貸付金などで、為替差損が39億円発生しております。ただし、前年同期に比べてその金額は減少しております。

## 第3四半期 グループ事業別実績

単位：億円

		1Q～3Q (2009/9～2010/5)			3Q (2010/3～2010/5)		
		9ヶ月累計	前年実績	前年 同期比	3ヶ月実績	前年実績	前年 同期比
国内ユニクロ事業	売上高	4,975	4,326	+15.0%	1,373	1,364	+0.7%
	営業損益	1,171	964	+21.4%	233	276	▲15.6%
	(売上比)	23.5%	22.3%	+1.2p	17.0%	20.3%	▲3.3p
海外ユニクロ事業	売上高	586	281	+108.3%	181	94	+91.0%
	営業損益	65	18	+245.4%	6	2	+118.1%
	(売上比)	11.1%	6.7%	+4.4p	3.3%	2.9%	+0.4p
国内関連事業	売上高	358	388	▲7.8%	116	144	▲19.5%
	営業損益	▲5	▲5	-	5	6	▲15.6%
	(売上比)	-	-	-	4.5%	4.3%	+0.2p
グローバルブランド事業	売上高	663	355	+86.6%	207	186	+11.7%
	営業損益	66	31	+108.2%	22	7	+219.1%
	(売上比)	10.0%	9.0%	+1.0p	10.9%	3.8%	+7.1p

5

こちらのスライドでは、各グループ事業別の売上高、営業損益を示しております。詳しくは次の頁以降でご説明いたします。

1Q~3Q  
9ヶ月累計 **大幅な増収増益を達成**

単位: 億円

	1Q~3Q (2009/9~2010/5)			3Q (2010/3~2010/5)		
	9ヶ月累計	前年実績	前年同期比	3ヶ月実績	前年実績	前年同期比
<b>売上高</b> (売上比)	<b>4,975</b> 100.0%	4,326 100.0%	+15.0%	<b>1,373</b> 100.0%	1,364 100.0%	+0.7%
<b>売上総利益</b> (売上比)	<b>2,499</b> 50.2%	2,102 48.6%	+18.9% (+1.6p)	<b>670</b> 48.8%	665 48.8%	+0.8% (+0.0p)
<b>販管費</b> (売上比)	<b>1,328</b> 26.7%	1,137 26.3%	+16.7% (+0.4p)	<b>437</b> 31.8%	388 28.5%	+12.5% (+3.3p)
<b>営業利益</b> (売上比)	<b>1,171</b> 23.5%	964 22.3%	+21.4% (+1.2p)	<b>233</b> 17.0%	276 20.3%	▲15.6% (▲3.3p)

6

まず、国内ユニクロ事業ですが、第3四半期9ヶ月累計における売上高は、4,975億円、前年同期比15.0%増、営業利益は1,171億円、同21.4%増と大幅な増収増益を達成いたしました。

なお、第3四半期3ヶ月間での売上高は1,373億円、前年同期比0.7%増、営業利益は233億円、同15.6%減となっております。

この第3四半期3ヶ月間の業績は、4月8日に発表いたしました予想数値に比べて、売上高で約80億円、営業利益で約35億円下回る水準となっております。

項目ごとの説明につきましては、次のスライドでさせていただきます。

## 【国内ユニクロ事業】売上高の状況

**3Q  
(3~5月) 売上高 1,373億円 (前年同期比 +0.7%)**

- ユニクロ直営店 2010年5月末 789店※ 前年同期比 32店舗増)
- 第3四半期(3月~5月)の 既存店売上高 ▲7.9% (客数 ▲3.1%、客単価 ▲5.0%)

客数減の背景 ⇒ 天候要因(特に3月、4月の天候不順)  
マーケティングに課題

客単価減の背景 ⇒ 一品単価の低いインナー商品(サラファイン、シルキードライ)、およびレギンスなどの売上構成比が高まったことによる影響

既存店 前年比増減率	2010年8月期					
	上期累計	3月	4月	5月	3Q	6月
売上高	+13.1%	▲16.4%	▲12.4%	+3.1%	▲7.9%	▲5.8%
客数	+11.7%	▲10.7%	▲7.8%	+6.9%	▲3.1%	▲5.2%
客単価	+1.3%	▲6.4%	▲5.1%	▲3.5%	▲5.0%	▲0.7%

※ FC店 20店舗を除く

まず第3四半期3ヶ月間の売上高ですが、既存店売上高が7.9%の減収となったものの、直営店が前年同期末比で32店舗増加したことにより、全体では0.7%の増収となりました。

既存店売上高7.9%減の内訳としては、客数がマイナス3.1%、客単価がマイナス5.0%となっております。

客数減につきましては、3月、4月の気温が低く推移したなどの、天候要因が大きかったと考えております。気温が低かったことにより、カットソーなどの春夏ものの実需商品が大きく減収となりました。

また、3月、4月のマーケティングでは、集客に大きく寄与するようなキャンペーンを実施することができず、客数を落とす結果となりました。マーケティングについては課題と考えており、早急に修正を図って参ります。

客単価の減少は、主に一品単価の低いサラファイン、シルキードライといったインナー商品、およびレギンスの売上構成比が高まったことが要因となっております。

なお、5月の既存店売上高は3.1%の増収に転じましたが、これは、28日から実施した「ユニクロ誕生感謝祭」が大きな話題となり、集客に寄与したことによります。

また、既にお知らせしている通り、6月の既存店売上高は前年比5.8%減収となっております。

### 3Q (3~5月) 既存店売上高減収の要因

- 天候要因  
⇒3月、4月における低温傾向
- マーケティングの課題
- 品番数の拡大でわかり難くなった売場
- 売れ行き好調な商品の数量不足

第3四半期の既存店が減収となった要因について、こちらのスライドにまとめております。

まず、天候要因、特に気温が低く推移したことによる客数減があげられます。

二つ目の要因として、UJを中心としたマーケティングの問題があげられます。キャンペーンで展開した商品の価値、ニュース性を訴求することができなかったことが課題だと考えております。

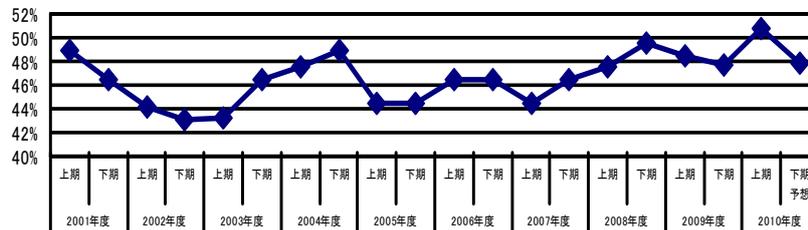
また、品番数が増えたことにより、お客様がご来店しても欲しい商品を見つけられないといった、わかり難い売り場となっていたことも要因でした。

またこの春夏では、新しい商品開発への挑戦を行ってきましたが、人気が高い新商品の中には、売り場へ投入後、即欠品するような商品もありました。商品計画についても、課題があったと認識しております。

3Q  
(3~5月) 売上高総利益率 48.8% (前年同期比 ±0.0p)

- サラファイン、シルキードライの好調な販売
- 値引のコントロールを強化

売上高総利益率の推移



第3四半期3ヶ月間の売上高総利益率は計画通りに推移し、48.8%と前年同期と同水準になりました。

粗利益率を維持できた要因としては、まず、サラファイン、シルキードライといったヒット商品の販売が好調に推移し、値引率が低くなったことがあげられます。

第3四半期の売上高は計画に対して未達という結果ではありましたが、無理な値引きはしておりません。

3Q  
(3~5月) 売上高販管費率 31.8% (前年同期比 +3.3p)

- 全体の販管費はほぼ計画通り
- 既存店減収(計画未達)により、販管費率はアップ
  - 人件費率 +1.3ポイント
  - 広告宣伝費率 +1.0ポイント
  - 賃借料率 +0.6ポイント
- 前年の第3四半期に販管費率が大幅に改善したことで、今年の比率は前年より高くなることを予想(約2ポイント)

10

第3四半期3ヶ月間の売上高販管費率は31.8%、前年同期比で3.3ポイント上昇しております。

全体の販売管理費の実額はほぼ計画通りとなっておりますが、既存店売上高が7.9%減となったことにより、人件費率、広告宣伝費率、賃借料率はそれぞれ前年に比べて、結果として高くなっております。

なお、前年の第3四半期は既存店増収率が高く、経費効率が大幅に改善したことで、今年の販管費率は前年より約2ポイント高くなることを見込んでおりました。

## 1Q~3Q累計 大幅増収増益を達成

### ○アジア 5月に上海にグローバル旗艦店をオープン

(店舗数 2009/8末 76店舗 ⇒ 2010/5末 117店舗)

中国・香港 グローバル旗艦店(上海 南京西路店)は成功

3Q: 既存店売上高は二桁増収、順調な業績拡大は継続

韓国 3Q: 売上は好調に推移、業績はほぼ計画通り

### ○欧米 ロシアに1号店をオープン

(店舗数 2009/8末 16店舗 ⇒ 2010/5末 18店舗)

米国 3Q: 売上は好調に推移、計画通りの業績

英国・フランス 3Q: 既存店売上高増収続く、計画通りの業績

単位: 億円

		1Q~3Q (2009/9~2010/5)			3Q (2010/3~2010/5)		
		9ヶ月累計	前年実績	前年同期比	3ヶ月実績	前年実績	前年同期比
海外ユニクロ事業	売上高	586	281	+108.3%	181	94	+91.0%
	営業損益	65	18	+245.4%	6	2	+118.1%
	(売上比)	11.1%	6.7%	+4.4p	3.3%	2.9%	+0.4p

11

次に海外ユニクロ事業ですが、第3四半期9ヶ月累計の売上高は586億円と前年同期に比べほぼ倍増、営業利益は65億円と同3.5倍増の大幅な増収増益を達成いたしました。なお、これはほぼ計画通りの水準となっております。

アジアでは、世界で4番目となるグローバル旗艦店、「上海 南京西路店」を5月15日にオープンいたしました。

中国、香港ではグローバル旗艦店が成功を収めたことにより、既存店売上高は二桁増収が続いており、順調な業績拡大は継続しております。また、韓国についても、売上は順調で、業績はほぼ計画通りの水準となっております。

アジア地区全体では今期42店舗の出店と1店舗の退店により、5月末の店舗数は117店舗まで拡大しております。

欧米では、4月に新規出店国となるロシアに1号店をオープンいたしました。出店後の売上は好調に推移しております。

米国はSOHOのグローバル旗艦店が好調な売上を維持しており、計画通りの業績となっております。

また、英国、フランスでは、既存店売上高の増収は続いており、計画通りの業績となっております。

### 1Q～3Q累計 ジーユー事業は順調

- ジーユー事業 3Q:業績は計画通り  
大型店「ジーユー川崎ダイス店」をオープン
- 靴事業 3Q:株ユニクロへ統合  
ユニクロの経営基盤を利用し、SPA化・効率化を図る
- キャビン 3Q:業績は計画通り  
既存店売上高は減収が続く

単位: 億円

		1Q～3Q (2009/9～2010/5)			3Q (2010/3～2010/5)		
		9ヶ月累計	前年実績	前年 同期比	3ヶ月実績	前年実績	前年 同期比
国内関連事業	売上高	358	388	▲7.8%	116	144	▲19.5%
	営業損益	▲5	▲5	-	5	6	▲15.6%
	(売上比)	-	-	-	4.5%	4.3%	+0.2p

次に国内関連事業ですが、売上高は358億円と前年同期に比べ7.8%減、営業損失は5億円とほぼ前年並みとなりました。

なお、これはほぼ計画通りの水準となっております。

この第3四半期3ヶ月のジーユー事業は計画通りの売上、利益を達成しております。

4月にジーユー初の大型店となる「ジーユー川崎ダイス店」をオープンするなど、今期の出店は計画通り推移しております。

靴事業につきましては、既にお知らせしている通り、4月1日付で株式会社ユニクロへ統合いたしました。

今後は、ユニクロの経営基盤を利用しながら、靴事業のSPA化や経営の効率化を図る計画です。

なお、キャビンは既存店売上高の前年割れが続いておりますが、ほぼ計画通りの業績となっております。

## 1Q~3Q累計 セオリー事業の営業利益上ぶれ

- セオリー事業 営業利益は計画対比で上ぶれ  
 米国:直営店の売上高は大幅増収、採算改善  
 日本:既存店増収を継続、円高によるコスト低減で大幅に採算が改善
- コントワー・デ・コトニエ事業 現地通貨ベースの業績は計画通り  
 円高の影響を受け、円ベースの業績は若干の下ぶれ
- プリンセス タム・タム事業 現地通貨ベースの業績は計画通り  
 卸売販売の事業規模を縮小

単位: 億円

		1Q~3Q (2009/9~2010/5)			3Q (2010/3~2010/5)		
		9ヶ月累計	前年実績	前年同期比	3ヶ月実績	前年実績	前年同期比
グローバルブランド事業	売上高	663	355	+86.6%	207	186	+11.7%
	営業利益	66	31	+108.2%	22	7	+219.1%
	(売上比)	10.0%	9.0%	+1.0p	10.9%	3.8%	+7.1p

グローバルブランド事業ですが、セオリー事業を2009年3月より新規に連結したことから売上高は663億円、前年同期比86.6%増、営業利益は66億円、同108.2%増と大幅な増収増益となりました。

米国のセオリー事業は、直営店の既存店売上高が大幅増収となったことから採算が改善いたしました。

日本のセオリー事業も、既存店売上高は増収を維持しており、かつ、円高による調達コスト低減により採算が大幅に改善いたしました。この結果、セオリー事業全体での営業利益は計画に対し上ぶれております。

コントワー・デ・コトニエ事業では既存店売上高の増収は続いており、現地通貨ベースでの業績は計画通りとなっております。

しかし、第3四半期以降ではユーロ安の影響を受け、円換算ベースでの売上高、営業利益は計画を若干下ぶれております。

プリンセス タム・タム事業では、現地通貨ベースでの業績は計画通りとなっております。卸売販売の事業規模を縮小し、より効率的な経営を目指しております。

単位：億円

	2009年8月末	2010年5月末	増 減
総資産	4,632	5,099	+466
流動資産	2,981	3,444	+462
固定資産	1,651	1,654	+3
負債	2,018	1,949	▲68
純資産	2,614	3,149	+535

2010年5月末の連結バランスシートのご説明をさせていただきます。

2009年8月末との比較では、  
 流動資産が462億円増加し、固定資産が3億円増加した結果、  
 全体の総資産は466億円増加して5,099億円となりました。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。

**現金・預金及び有価証券の増加 +381億円（1,697億円 ⇒ 2,079億円）**

【国内ユニクロ事業】 営業キャッシュ・フローの増加

**たな卸資産の減少 ▲28億円（745億円 ⇒ 716億円）**

【国内ユニクロ事業】 5月末残高 500億円（前年同期末比）+84億円

店舗数の増加・店舗の大型化による増加 +約30億円、

春物商品の在庫増加 +約50億円

**有形固定資産の増加 +69億円（459億円 ⇒ 529億円）**

【国内ユニクロ事業】 +59億円

まず、流動資産ですが、現金・預金及び有価証券の合計額は2,079億円と、8月末比で381億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業の営業キャッシュ・フローによる増加が主な要因です。

たな卸資産は716億円と、8月末比では28億円減少しております。

なお、国内ユニクロ事業の5月末の在庫は500億円と前年同期に比べて84億円増加しております。

これは、店舗数が増えたことや店舗の大型化に伴う影響が約30億円、残りは春物の在庫が増加した影響で約50億円となっております。

有形固定資産は、前期末比で69億円増加しております。

国内ユニクロ事業の出店に伴い、59億円増加したことがその主な要因です。

**通期**  
2010年8月期

**売上高** 8,150億円(前期比 +19.0%)  
**営業利益** 1,330億円(前期比 +22.4%)

単位: 億円

	2009年 8月期実績	2010年8月期		2010年8月期		
		従来予想 (4/8時点)	前期比	修正予想 (7/8時点)	前期比	従来予想比
<b>売上高</b> (売上比)	6,850 100.0%	<b>8,340</b> 100.0%	+21.7%	<b>8,150</b> 100.0%	+19.0%	▲2.3%
<b>売上総利益</b> (売上比)	3,415 49.9%	<b>4,285</b> 51.4%	+25.5% (+1.5p)	<b>4,200</b> 51.5%	+23.0% (+1.6p)	▲2.0% (+0.1p)
<b>販管費</b> (売上比)	2,328 34.0%	<b>2,880</b> 34.5%	+23.7% (+0.5p)	<b>2,870</b> 35.2%	+23.2% (+1.2p)	▲0.3% (+0.7p)
<b>営業利益</b> (売上比)	1,086 15.9%	<b>1,405</b> 16.8%	+29.3% (+0.9p)	<b>1,330</b> 16.3%	+22.4% (+0.4p)	▲5.3% (▲0.5p)
<b>経常利益</b> (売上比)	1,013 14.8%	<b>1,345</b> 16.1%	+32.8% (+1.3p)	<b>1,270</b> 15.6%	+25.4% (+0.8p)	▲5.6% (▲0.5p)
<b>当期純利益</b> (売上比)	497 7.3%	<b>710</b> 8.5%	+42.6% (+1.2p)	<b>675</b> 8.3%	+35.6% (+1.0p)	▲4.9% (▲0.2p)

16

ここからは、2010年8月期通期の業績予想についてご説明いたします。

通期の連結売上高は8,150億円、前期比19.0%増、営業利益は1,330億円、同22.4%増と増収増益を予想しております。

なおこれは、4月8日の予想と比較して売上高で190億円、営業利益で75億円、減額修正しております。

**通期** 売上高 6,080億円(前期比 +13.0%)  
 2010年8月期 営業利益 1,300億円(前期比 +17.4%)

単位：億円

	2009年8月期	2010年8月期		2010年8月期		
	通期実績	従来予想 (4/8時点)	前期比	修正予想 (7/8時点)	前期比	従来予想比
<b>売上高</b> (売上比)	5,381 100.0%	<b>6,240</b> 100.0%	+15.9%	<b>6,080</b> 100.0%	+13.0%	<b>▲2.6%</b>
<b>売上総利益</b> (売上比)	2,590 48.1%	<b>3,095</b> 49.6%	+19.5% (+1.5p)	<b>3,015</b> 49.6%	+16.4% (+1.5p)	<b>▲2.6%</b> (+0.0p)
<b>販管費</b> (売上比)	1,482 27.6%	<b>1,720</b> 27.6%	+16.0% (+0.0p)	<b>1,715</b> 28.2%	+15.7% (+0.6p)	<b>▲0.3%</b> (+0.6p)
<b>営業利益</b> (売上比)	1,107 20.6%	<b>1,375</b> 22.0%	+24.1% (+1.4p)	<b>1,300</b> 21.4%	+17.4% (+0.8p)	<b>▲5.5%</b> (▲0.6p)

17

国内ユニクロ事業の通期の業績予想は、売上高6,080億円、前年比13.0%増、営業利益1,300億円、同17.4%増と増収増益を予想しております。

なおこれは、4月8日の予想と比較して売上高で160億円、営業利益で75億円、減額修正しております。

	2009年8月期	2010年8月期		
	実績	従来予想 (4月8日時点)	修正予想 (7月8日時点)	前期比
売上高	5,381 億円	6,240 億円	6,080 億円	+13.0%
既存店伸び率(通期)	+11.3%	+7.2%	+4.4%	▲6.9p
上期(実績)	+12.9%	+13.1%	+13.1%	+0.2p
下期(予想)	+9.3%	+0.0%	▲6.3%	▲15.6p
店舗数純増(通期)	10店舗	39店舗	38店舗	+28店舗
上期(実績)	6店舗	21店舗	21店舗	+15店舗
下期(予想)	4店舗	18店舗	17店舗	+13店舗
売上高総利益率(通期)	48.1%	49.6%	49.6%	+1.5p
上期(実績)	48.5%	50.8%	50.8%	+2.3p
下期(予想)	47.7%	48.0%	47.8%	+0.1p
売上高販管費率(通期)	27.6%	27.6%	28.2%	+0.6p
上期(実績)	25.3%	24.7%	24.7%	▲0.6p
下期(予想)	30.3%	31.4%	33.3%	+3.0p

国内ユニクロ事業の業績予想の前提は、資料のとおり修正しております。

下期の既存店売上高伸び率の予想は6月までの累計でマイナス7.4%と  
なっていることからマイナス6.3%としております。

下期の売上高総利益率は、47.8%といたします。

下期の売上高販管費率は、売上高の予想数値を修正したことから  
33.3%を予想しております。

## 各国共に好調な業績が続く

- 米国                    ニューヨーク5番街の不動産物件の賃借料が発生したことで、営業利益の予想を修正
- 英国・フランス    為替変動により、円ベースの業績予想を減額修正

単位：億円

		2009年8月期	2010年8月期		2010年8月期		
		通期実績	従来予想 (4/8時点)	前期比	修正予想 (7/8時点)	前期比	従来予想比
海外ユニクロ事業	売上高	377	740	+95.8%	730	+93.2%	▲1.4%
	営業利益	16	75	+363.0%	65	+301.2%	▲13.3%
	(売上比)	4.3%	10.1%	+5.8p	8.9%	+4.6p	▲1.2p

19

海外ユニクロ事業の通期の業績予想は、売上高730億円と前期比93.2%増、営業利益65億円と前期比約4倍を見込んでおります。

なおこれは、4月8日の業績予想から売上高で10億円、営業利益で10億円それぞれ減額修正しております。

各国の業績については、計画通り好調な業績が続いております。

しかし米国では、5月に締結したニューヨーク5番街における不動産の賃借料が発生していることから、営業利益の予想を減額修正いたしました。

英国とフランスにつきましては、急激な為替の変動により、円ベースの業績予想を減額修正いたしました。

## セオリー事業の営業利益を増額修正 CDC、PTTはユーロ安の影響を修正

- セオリー事業の営業利益予想を増額修正  
米国の直営既存店売上高は好調、収益拡大が続く  
日本では円高メリットにより調達コスト低減、収益性が大幅に改善
- コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業はユーロ安により円ベースの業績予想を修正

単位：億円

		2009年8月期	2010年8月期		2010年8月期		
		通期実績	従来予想 (4/8時点)	前期比	修正予想 (7/8時点)	前期比	従来予想比
グローバルブランド事業	売上高	555	860	+54.7%	840	+51.1%	▲2.3%
	営業利益	36	55	+50.0%	65	+77.3%	+18.2%
	(売上比)	6.6%	6.4%	▲0.2p	7.7%	+1.1p	+1.3p

20

グローバルブランド事業の通期の業績予想は、売上高840億円、前期比51.1%増、営業利益65億円、同77.3%増と予想しております。なおこれは、4月8日発表の業績予想から売上高で20億円の減額修正、営業利益で10億円の増額修正となっております。

米国のセオリー事業では直営既存店の売上高が好調に推移し、収益の拡大が続いております。

また日本のセオリー事業は、円高メリットにより調達コストが低減していることから、収益性が大幅に改善しております。

この結果セオリー事業の通期の営業利益予想を増額修正いたしました。

コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業につきましては、計画通りの業績が続いておりますが、ユーロ安の影響を加味し、円ベースで業績予想を修正しております。

## 2010年8月期 グループ事業別 業績予想

### 4月8日発表の通期業績予想からの修正幅

	売上高	営業利益
国内ユニクロ事業	▲160億円	▲75億円
海外ユニクロ事業	▲10億円	▲10億円
国内関連事業	修正なし	修正なし
グローバルブランド事業	▲20億円	+10億円

単位：億円

		2009年8月期		2010年8月期		2010年8月期		
		通期実績	従来予想 (4/8時点)	前期比	修正予想 (7/8時点)	前期比	従来予想比	
国内ユニクロ事業	売上高	5,381	6,240	+15.9%	6,080	+13.0%	▲2.6%	
	営業損益 (売上比)	1,107 20.6%	1,375 22.0%	+1.4p	1,300 21.4%	+0.8p	▲0.6p	
海外ユニクロ事業	売上高	377	740	+95.8%	730	+93.2%	▲1.4%	
	営業損益 (売上比)	16 4.3%	75 10.1%	+5.8p	65 8.9%	+4.6p	▲1.2p	
国内関連事業	売上高	515	470	▲8.8%	470	▲8.8%	+0.0%	
	営業損益 (売上比)	▲5 -	▲7 -	-	▲7 -	-	-	
グローバルブランド事業	売上高	555	860	+54.7%	840	+51.1%	▲2.3%	
	営業損益 (売上比)	36 6.6%	55 6.4%	▲0.2p	65 7.7%	+1.1p	+1.3p	

21

こちらのスライドではグループ事業別の売上高、営業損益の予想を示しております。

なお、2010年8月期の一株当たり配当金は、期末の115円と中間の115円を合わせて、通期では230円を予想しております。

こちらは4月8日発表の配当金予想から変更ございません。

最後に、上海グローバル旗艦店オープンの模様をご紹介します。

上海最大の商業地域 南京西路に世界最大のユニクロ店舗をオープン



(写真)上海 南京西路店 外観

5月15日に、上海最大の商業地域である南京西路に、ユニクロの4番目のグローバル旗艦店となる「上海 南京西路店」をオープンし、成功を収めることができました。

こちらは、店舗外観の写真となります。

店舗名 : 上海 南京西路店 (Shanghai West Nanjing Road Store)

立地 : 南京西路(上海最大の商業地域)

地下鉄「南京西路駅」真上の立地

売場面積: 1階~3階、売場面積 約1,100坪(ユニクロ最大)

オープン: 5月15日



(写真)上海 南京西路店  
入り口付近

南京西路は、日本で言えば銀座のような商業地域に当たる立地です。

上海のグローバル旗艦店は、その南京西路の目抜き通りの角地で、  
また地下鉄「南京西路駅」の真上に位置しております。

1階から3階までの3層で売場面積は約1,100坪と、ユニクロ店舗の中で  
世界最大の規模となっております。

こちらは、店舗入り口付近の写真となっております。

オープン前には1,000人を超えるお客様の行列ができるなど大盛況



(写真) 上海 南京西路店 オープン直後の行列

5月15日のオープン前には、予想を大きく上回る1,000人以上のお客様の行列ができるなど、大盛況となりました。

オープン日は入場制限を行うなど、店内也大盛況



(写真) 上海 南京西路店 入り口付近の混雑の様相

こちらは、オープン日の店舗内の模様です。  
ご覧いただけるとおり、店内也大混雑となっており、入場制限を行うような状況でした。

## 地下鉄「南京西路駅」での交通広告



(写真) 南京西路駅 プラットフォーム

上海グローバル旗艦店のオープンに合わせて展開したマーケティングの一部をご紹介します。

こちらは、店舗の真下にある地下鉄「南京西路駅」のプラットフォームで展開した交通広告の様です。

また今回、出店に合わせ、中国で8年ぶりにテレビコマーシャルを放映いたしました。

中国で非常に有名な歌手、モデル、ダンサー、バレリーナなど6名を起用したことで、ユニクロというブランドへの親近感を高めるブランドビルディングに成功したと考えております。

私からの説明は以上です。

ありがとうございました。

適用為替レート

単位：円

	1USD	1EUR	1GBP	1RMB	100KRW
2010年8月期 第3四半期(9ヶ月平均)	90.9	126.3	142.5	13.4	7.8
2009年8月期 第3四半期(9ヶ月平均)	96.5	128.9	148.0	14.5	7.2
2010年8月期 4Q予想レート(7/8時点)	90.0	110.0	130.0	13.0	7.5
2010年8月期 4Q予想レート(4/8時点)	90.0	130.0	140.0	13.0	7.5

設備投資 減価償却費 のれん償却額

単位：億円

	設備投資	減価償却費	のれん償却額
2010年8月期 第3四半期実績(9ヶ月累計)	199	87	56
2009年8月期 第3四半期実績(9ヶ月累計)	140	69	43
2010年8月期 通期予想(12ヶ月累計)	290	110	75
2009年8月期 通期実績(12ヶ月累計)	226	97	64

## 連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位:店舗】	09年8月 実績 期末	2010年8月期							
		3Q実績(2010/5末)				通期 予想(2010/8末)			
		出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
<b>ユニクロ事業合計</b>	<b>862</b>	<b>119</b>	<b>37</b>	<b>+82</b>	<b>944</b>	<b>125</b>	<b>39</b>	<b>+86</b>	<b>948</b>
国内ユニクロ事業:	770	75	36	+39	809	76	38	+38	808
直営店	750	75	36	+39	789	75	37	+38	788
大型店	71	31	0	+31	102	31	0	+31	102
標準店等	679	44	36	+8	687	44	37	+7	686
FC	20	0	0	0	20	1	1	0	20
海外ユニクロ事業:	92	44	1	+43	135	49	1	+48	140
中国(除く香港)	33	21	1	+20	53	23	1	+22	55
香港	11	2	0	+2	13	2	0	+2	13
韓国	30	18	0	+18	48	21	0	+21	51
シンガポール	2	1	0	+1	3	1	0	+1	3
英国	14	0	0	0	14	0	0	0	14
米国	1	0	0	0	1	0	0	0	1
フランス	1	1	0	+1	2	1	0	+1	2
ロシア	-	1	0	+1	1	1	0	+1	1
<b>靴事業※</b>	<b>279</b>	<b>0</b>	<b>189</b>	<b>▲189</b>	<b>90</b>	<b>0</b>	<b>189</b>	<b>▲189</b>	<b>90</b>
<b>ジーユー事業※</b>	<b>72</b>	<b>47</b>	<b>1</b>	<b>+46</b>	<b>118</b>	<b>47</b>	<b>4</b>	<b>+43</b>	<b>115</b>
<b>キャビン事業※</b>	<b>205</b>	<b>15</b>	<b>22</b>	<b>▲7</b>	<b>198</b>	<b>15</b>	<b>23</b>	<b>▲8</b>	<b>197</b>
<b>セオリー事業※</b>	<b>306</b>	<b>35</b>	<b>12</b>	<b>+23</b>	<b>329</b>	<b>40</b>	<b>24</b>	<b>+16</b>	<b>322</b>
<b>コントワー・デ・コトニエ事業※</b>	<b>368</b>	<b>15</b>	<b>12</b>	<b>+3</b>	<b>371</b>	<b>29</b>	<b>16</b>	<b>+13</b>	<b>381</b>
<b>プリンセス タム・タム事業※</b>	<b>166</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>+1</b>	<b>167</b>	<b>2</b>	<b>13</b>	<b>▲11</b>	<b>155</b>
<b>総合計</b>	<b>2,258</b>	<b>233</b>	<b>274</b>	<b>▲41</b>	<b>2,217</b>	<b>258</b>	<b>308</b>	<b>▲50</b>	<b>2,208</b>

※FCを含む店舗数